

# 波野の古墳だより 第1号

発行 徳島市幸町2丁目5番地  
徳島市教育委員会  
社会教育課(文化財係)  
発行日 平成23年12月26日

徳島市では平成 22 年度から、波野丸山古墳を今後どう保存し守っていくかについての方針を決める「保存管理計画」を作成しています。この保存管理計画を作成した後、整備計画をたて、具体的に古墳をどのように整備していくかを検討していく予定です。

古墳はただ整備するだけでなく、活用されてこそ、その重要さが際立ちます。今後生涯学習や子どもの教育の場として、そしてまちの交流の核としていろいろな活用方法を模索していきたいと考えています。古墳を後世に引き継いでいくためには、地域のみなさんや考古学ファンのみなさまの協力が欠かせません。

今回「波野の古墳だより」を発行するにあたり、波野丸山古墳で行われた取り組みや、今後の予定などをみなさんに発信していく予定です。



## 夏休み親子考古学教室

この事業の一環として、平成 23 年 7 月 30 日(土)に波野公民館において「夏休み親子考古学教室」が開催されました。計 21 名の親子が参加し、古墳を見学し、その大きさを実感したあと、紙粘土とダンボール、小石などを使って波野丸山古墳のミニチュア模型を製作しました。細かいところが難しかったという声もありましたが、みなさん仲良く一生懸命に製作していました。



## 渋野歴史シンポジウム

平成 23 年 11 月 23 日(水・祝)に渋野公民館において渋野歴史シンポジウムが開催されました。講師には徳島大学教授の東潮さんと徳島文理大学教授の大久保徹也さんをお招きして、渋野丸山古墳についてご講演いただきました。当日は市内外だけでなく県外からの来場もあり、約 80 人の参加者で小さな公民館はいっぱいになりました。

東教授からは、渋野丸山古墳がつくられた 5 世紀(いまから約 1600 年前)について、東アジアからという大きな視点からみてどのような時代だったかについて、朝鮮半島の陵墓などのお話を交えながらお話いただきました。

大久保教授からは、四国で一番大きい前方後円墳の富田茶臼山古墳(香川県さぬき市)と二番目に大きい渋野丸山古墳を比較しながら、なぜ巨大古墳が四国にもつくられたのかについてお話をいただきました。

参加者のみなさんから、講演内容に対する事実確認等の質問を受けたあと最後に、渋野町の武市ひろふみさんが今後の渋野丸山古墳の整備に対する展望をそれぞれの先生方に質問するという形でまとめてくださいました。先生がたからは、古墳を渋野町という自然豊かな地域にふさわしい「鎮守の森」のような存在として整備し、地域に大切にされる史跡として活用してほしいというようなご意見をいただきました。



### ご講演いただいた先生がたのプロフィール

あずま うしお  
**東 潮 さん**

1946 年生まれ。九州大学大学院修了後、奈良県立橿原考古学研究所を経て現在徳島大学大学院教授。専門は東アジアの考古学。著作に『高句麗の壁画古墳』など。徳島市文化財保護審議会、渋野丸山古墳保存管理計画検討委員会副委員長。



おおくぼ てつや  
**大久保 徹也 さん**

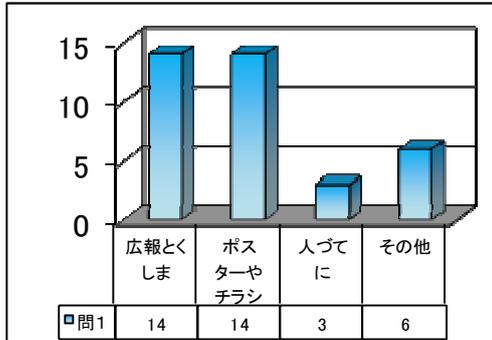
1960 年生まれ。岡山大学大学院を修了後、香川県教育委員会、香川県埋蔵文化財センターを経て、現在徳島文理大学文学部文化財学科教授。専門はおもに古墳時代。著作に『古墳時代の政治構造』(共著)など。考古学研究会常任委員。



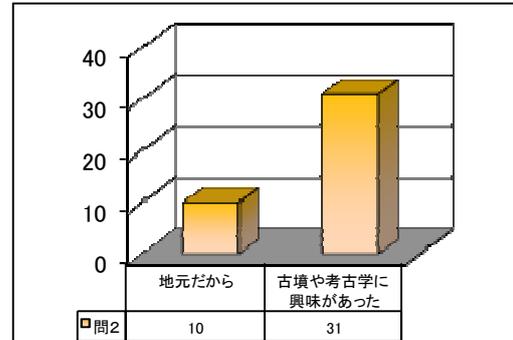
社会教育課では来年度以降、学識経験者による専門委員会をたちあげたうえで、市民のみなさんからの意見を募りながら、渋野丸山古墳の保存整備を進めて参りたいと考えています。今回のような親子考古学教室や歴史シンポジウムなどの行事も、随時行っていく予定ですので、ご協力をよろしくおねがいいたします。(事務局)

## 渋野歴史シンポジウムアンケート結果

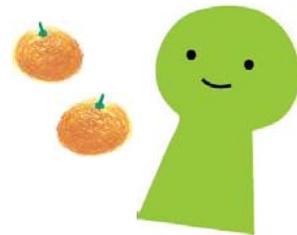
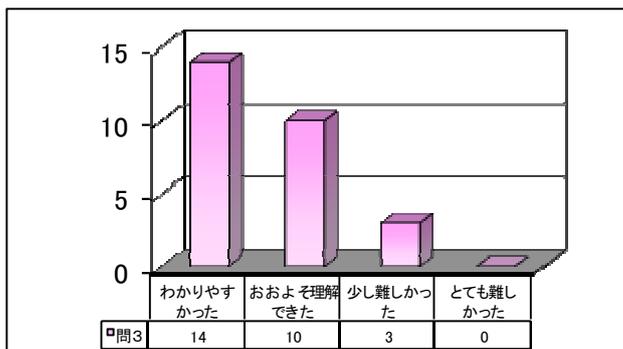
問1 シンポジウムが開催されることをどこで知りましたか？



問2 なぜシンポジウムに参加しようと思いましたか？



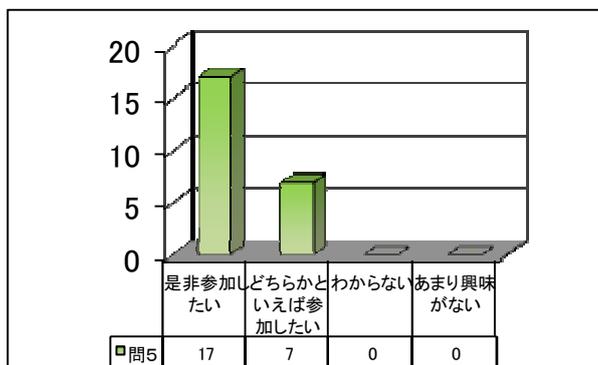
問3 シンポジウムの内容はどうでしたか



問4 渋野丸山古墳を見学した感想を教えてください。

もう少し手入れが必要／遠くからでも前方後円墳の形がわかるような整備をしてほしい／草刈りが必要／説明してもらってはじめて気付くことができた／はやく復元整備ができれば良いと思った／ロマンが感じられた／周囲にどんな人が住んでいたのだろうか／1500年の時代と、人々の暮らしの営みを考えました／普通の山に看板だけがあるという印象、整備が必要／山の上に登って大きな古墳と驚いた。講演で改めて重要な古墳をわかった／気延山のように形がわかるようにしてほしい／整備したら素晴らしい文化財になるので、一見したら古墳とわかるくらいに整備してほしい／計画的な保存を望む／大変驚いた／道路に矢印などで案内板を取り付けたらどうか／2回目の古墳見学だが、よく残されているのでいい勉強になった／はじめて後円部の上に立つことができた／楠や竹林を取り除けば自然が失われるし、難しい課題だと思う／全調査を終えて史跡公園に／地理的にも恵まれたところがあるので、多くの方に興味をもってもらえば／渋野丸山古墳をまったく知らなかったので大変良かった

問5 渋野丸山古墳やそのほか遺跡に関するイベントがあれば参加したいですか？



問6 古墳を活用してどのようなことができると思いますか？また、どのようなイベントに参加してみたいですか？

渋野丈六史跡めぐり／渋野古墳めぐり／全国規模の古墳の講演会／定期的なシンポジウム／体験学習／発掘調査への参加／古墳のネットワークが見えるように／築造当時の姿を復元した形であまり人工的なものを入れて欲しくない／講演会の開催／資料館の建設／植物園と古墳のコラボ／古代体験まつり／四国古墳サミット／史跡めぐりで丈六寺とセットにする／小中学校の児童生徒を対象に課外授業、体験学習（土器に触れる機会等）を推進する／

問7 整備のあり方についてのご意見やご要望

早くしてほしい／周辺の古墳もあわせて整備してほしい／わかりやすい案内標識／古墳の保存／出土品の展示／もとの形に復元してほしい／道路にも標識をたてるなどしたり、絵と文の説明がほしい／教育上、参考にすべき／県内の史跡めぐりに組み込めるくらいの整備を／早く発掘調査をして出土品を見せて欲しい／自然の形はそのままにしておく。あまり手を入れるとよくない／高松の富田茶臼山古墳のような感じにしていただければ初めて見る方にもわかりやすい／地元や所有者にきちんと保存意義を説明／動物園と共に地域おこしになれば／徳島の人には知らないのもっと古墳のまちをアピールする／当時の様子を再現した展示、野外パネルやフィギュア／解説DVDの作成／古墳見学順路の整備／古墳の入り口に看板等を設置してもらいたい／各遺構がわかりやすいように地図、案内板を設置するとより理解しやすい(例:ここが集濠・・・など)

問8 文化財を活用した行事、イベントについてのご意見やアイデア、シンポジウムについての意見や感想など何でもどうぞ

地域の活性化／郷土史の作成／地域別にウォーキングなど／定期的、季節ごとなどにしていただければ／古代の仮装行列等／児童生徒に文化財の大切さを教育すること、そのために土器の破片等に触れさせたり、現地で直接体験させるおくことが必要